

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

アセトン血性嘔吐症とケトン性低血糖症における血清カルニチン値

1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象：アセトン血性嘔吐症とケトン性低血糖症で入院した小児

研究対象期間：2020年3月31日から2021年9月30日まで

2. 研究目的・方法

エネルギーを作るとき、主には糖分を利用して作りますが、足りない場合は脂肪を使いエネルギー産生を行うことがあります。脂肪を使ってエネルギーを作る過程を β 酸化と呼び、 β 酸化にはカルニチンという物質が必要となります。 β 酸化では、エネルギーのほか、ケトン体という物質もできます。

カルニチンが足りない状態では、 β 酸化ができないため、一般的には非ケトン性の低血糖症を起こすことがあります。

こどもはもともと糖分の蓄えが少ないため、1食ご飯を抜いてしまうだけでエネルギー不足となり、 β 酸化を体内で行い、ケトン性の低血糖症を引き起こし点滴で糖分を補給してあげる必要があることがあります。ケトン性の低血糖症では、カルニチンの量が足りていないのかどうか検証した研究はほとんどありません。今回、ケトン性の低血糖症やアセトン血性嘔吐症で入院したこどものカルニチン値がどのようになっているのかの研究を行います。入院するときに採取した血液検査を利用しての研究となります。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2023年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬）および臨床検査項目〔血液、生化学（インスリン、遊離脂肪酸、ケトン体、カルニチンを含む）、血液ガス分析、尿所見〕

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院こどもセンター 氏名：阿部祥英

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000

研究責任者：阿部祥英